

利用動線・各種公園施設の整備

利用・安全

●各出入口（正門前口・遊園口・四村橋口・下田橋口・中野通口・梅林口・妙正寺川口）周辺

短期・中期

現況と課題 ※主なもの

- ・舗装のがたつきや、道路との段差が見られるなど、バリアフリー対応となっていない。
- ・植栽が見通しを阻害し、幅員を狭めている。（正門前口）
- ・車いす使用者用の駐車スペースが無い。（正門前口）
- ・案内板や利用案内、掲示板等が体系的に整っていない。
- ・車止めの配置間隔が狭く通りにくい。（遊園口等）
- ・雨水が道路に流れる。自転車通行対策が必要。（中野通口）
- ・門扉等の老朽化した施設が景観を損ねている。

再整備の方向性 ※主なもの

- ・舗装の改修や段差の解消等を行うほか、触知案内板や点字ブロックによるバリアフリー対応に取り組む。
- ・植栽は利便性や景観面等を踏まえて改善を図る。
- ・体系的に整理された案内板等を、新規に設置する。
- ・門扉等の老朽化施設については、撤去・新設を行う。
- ・スロープ上部における排水設備等を改善する。（中野通口）
- ・車いす使用者用の駐車スペースを確保する。駐車台数の見直しについては、長期的な課題とする。（正門前口）

《正門前口における整備イメージ》



傷んだ舗装



見通しを阻害する植栽



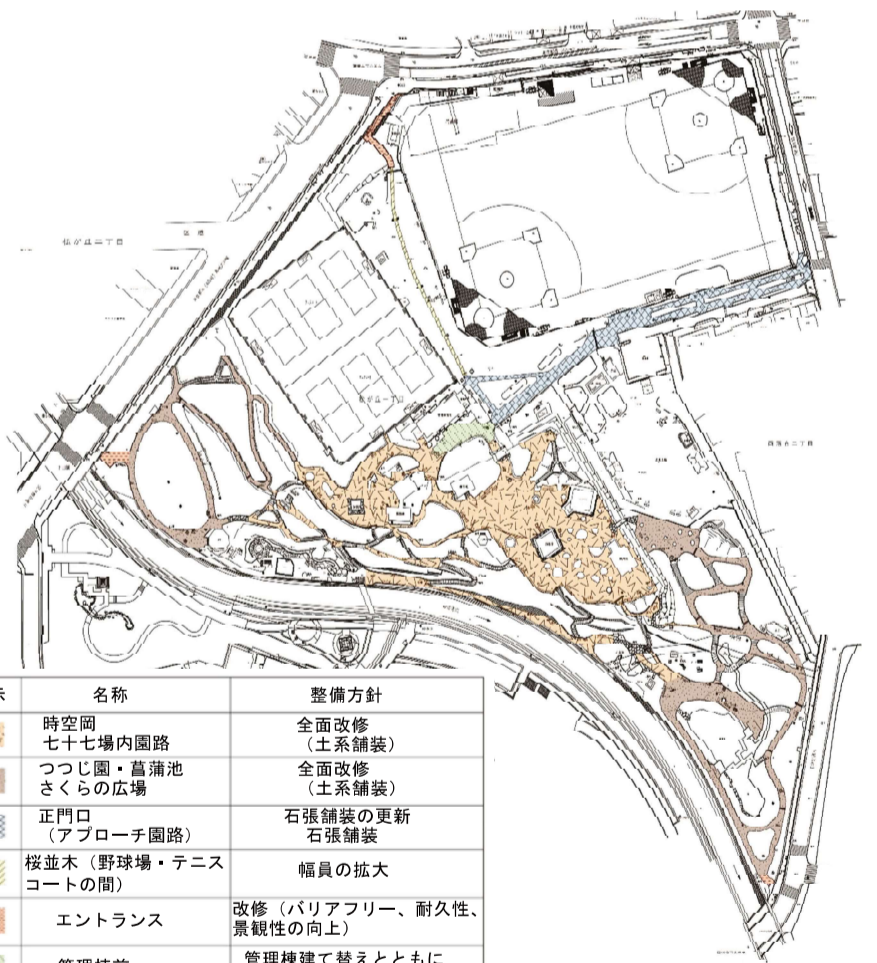
舗装、植栽、案内板等の改善による、エントランスとしての景観の向上

●園路・広場舗装

短期・中期

現況と課題

- ・土系舗装の劣化が著しく、園内の至る所で段差や不陸が生じ、歩きづらい。また、各所で滞水（水たまり）が生じている。
- ・完全に土壌が露出している箇所も多く、雨天時や冬の降霜時は特に歩きづらい。
- ・斜面地では、樹木の根が地表に伸びて園路を壊し、歩行の妨げとなっている。
- ・テニスコート・野球場間の通路が狭く、また段差があるため、使いづらい。



表示	名称	整備方針
■	時空岡 七十七場内園路	全面改修 (土系舗装)
■	つつじ園・菖蒲池 さくらの広場	全面改修 (土系舗装)
■	正門口 (アプローチ園路)	石張舗装の更新 石張舗装
■	桜並木(野球場・テニスコートの間)	幅員の拡大
■	エントランス	改修(バリアフリー、耐久性、 景観性の向上)
■	管理棟前	管理棟建て替えとともに 全面改修(石張舗装)

再整備の方向性

- 全面的な舗装の改修を順次進めていく。（右図のとおり）
- ・文化財としての景観に配慮し、現状で土系舗装となっている場所は、同様の舗装を基本とする。
- ・テニスコート・野球場間の通路は、幅員や段差等の改善を図る。
- ・各出入口付近や管理棟前等は、景観面やバリアフリーの観点から踏まえて改修する。

●防災施設

現況と課題

哲学堂公園一帯は、大地震の発災時に発生する延焼火災やその他の危険から避難者の生命を保護するための広域避難場所に指定されているが、防災施設が不足している。



短～中期の整備

園内出入口周辺に、停電時にも使用可能なソーラー照明等の導入を検討する。

長期の整備

避難計画人数等から試算すると、哲学堂公園内に50基程度のマンホールトイレが必要となる。ただし、周辺に排水設備を確保する必要があるなど、文化財に与える影響が大きいため、運動施設の改修の際などに設置を検討する。